

NEWS RELEASE

2024年5月30日

【グランドオープン】インバウンド向け相撲エンタテインメントショーホール
THE SUMO HALL 日楽座 OSAKA

5月30日(木) なんばパークス8階に開業

THE SUMO HALL

日楽座

HIRAKUZA OSAKA

株式会社阪神コンテンツリンク(本社:大阪市福島区、社長:清水奨)は、大阪ミナミの商業施設「なんばパークス」8階に、インバウンド向け相撲エンタテインメントショーホール「THE SUMO HALL 日楽座 OSAKA(ザ・スモウホール ヒラクザ オオサカ)」を、2024年5月30日(木)にグランドオープンします。



「THE SUMO HALL 日楽座 OSAKA」は、日本の国技である「相撲」を観て、体験して、お楽しみいただける体験型の相撲エンタテインメントショーホールです。訪日外国人をメインターゲットとし、日本文化の魅力をより身近に感じていただけるよう、インバウンドのお客様でにぎわう大阪ミナミの商業施設なんばパークス8階に、この度開業します。

本施設は、「相撲」「食」「エンタテインメント」が融合した新しいショーホールとして、お越しいただいた全ての人々に、はじめて味わう感動と素晴らしい思い出をご提供します。

◆新感覚の「THE SUMO HALL 日楽座 OSAKA」開業の背景◆

2023年の訪日客数は、コロナ禍前(2019年)の約8割まで回復したと言われており、消費動向は、心を豊かにする日本独自の「伝統文化」や「伝統料理」など、体験重視の消費に関心が高まっています。様々な魅力を求めて多くの外国人が日本を訪れているものの、「コト消費(体験)」の支出割合は他国よりも低く、拡大の余地があります。

そのような状況を踏まえ、ビルボードライブ、阪神甲子園球場イベント運営等で培ったエンタテインメントショービジネスのノウハウをもつ株式会社阪神コンテンツリンクが、日本の国技「相撲」に息づく日本文化の魅力を世界へ発信すべく、新感覚の相撲エンタテインメントショーホール「THE SUMO HALL 日楽座 OSAKA」を開業する運びとなりました。

当施設は、インバウンドのお客様が日本文化に触れ、貴重な体験を創出する新たな体験スポットとして、地域経済の活性化に寄与します。

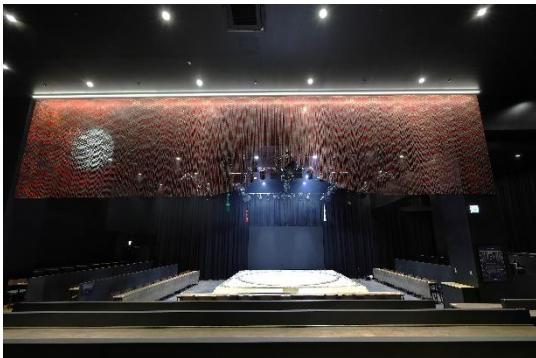
◆相撲×食×エンタメの体験型相撲エンタテインメントショーホール◆

「THE SUMO HALL 日楽座 OSAKA」は、インバウンドのお客様をメインターゲットに、1500年以上の歴史をもつ「相撲」を観て体験してお楽しみいただけるショーホールです。英語で進行する相撲ショーでは、土俵上で力士(元大相撲力士)たちによる迫力あるパフォーマンスが繰り広げられるほか、出演力士たちとの触れ合い(人数制限あり)や、記念撮影(グループ毎)を楽しむことができます。

当施設では、日本らしさを感じるオリジナルの幕の内弁当をご提供し、オプションで高級弁当や、ハラール弁当、ヴィーガン弁当をご堪能いただけます。日本では、江戸時代から歌舞伎や芝居などのエンタテインメントを、お弁当を食べながら楽しむという文化がありました。そのような日本の伝統的な観覧文化もご体験ください。

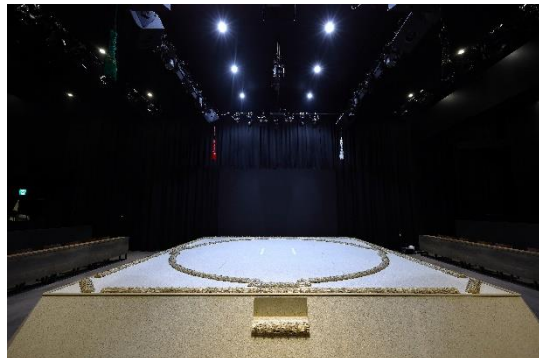
◆本物志向にこだわった日楽座施設◆

①ショーホール全体



相撲の魅力をも、映像・照明・音響を駆使してショーアップし、エンタテインメントショーとして提供します。

②土俵



出演者は元大相撲力士。土俵は実寸大でリアルに再現しています。

③座席



実寸大の土俵ステージを囲むように座席を配列。各座席には傾斜がついており、どの座席からも視界は良好です。

④ショップ



日楽座オリジナル商品や人気の定番相撲商品に加え、インバウンドのお客様にお土産としてお楽しみいただける日本らしい商品を多数販売します。

◆息を飲むほど惹き込まれる圧巻のパフォーマンス◆

第1部 SUMO CHRONICLES – JOURNEY of THE RISING SUN – 皆さまを 1500 年以上前の神話の世界へ導きます。



第2部 THE SUMO ENTERTAINMENT –SUMO を観る、知る、参加する–



①Introduction

稽古の風景と相撲のルールを分かりやすく解説します。

②The Sumo Match

白熱の取組！相撲の勝負をお楽しみください。

③The Sumo Experience

相撲スーツを着て力士と勝負ができます。(人数制限あり)

④Commemorative Photo

最後は出演力士と記念撮影ができます。(グループ毎)

◆出演者は全員元大相撲力士◆



TASHI

身長: 188 cm
体重: 155kg



WAKA

身長: 177 cm
体重: 135kg



MATSU

身長: 181 cm
体重: 120kg



KIKU

身長: 188 cm
体重: 130kg



TOMA

身長: 183 cm
体重: 200kg

◆実力派揃いのMC陣◆



桂紋四郎(かつらもんしろう)

上方落語家。大阪府吹田市生まれ。2010年に三代目桂春蝶に入門。上方伝統文化発信集団「霜乃会」のメンバー。



桂福龍(かつらふりゅう)

落語家。カナダ生まれ。2016年に桂福團治一門に入門。天満天神繁昌亭、ANA 寄席など名立たる会場で光彩を放つ。



桂文りん(かつらふみりん)

落語家。三重県生まれ。2021年に六代桂文枝に入門。司会・ラジオパーソナリティ・リングアナウンサーなどマルチに活躍中。

◆お弁当を食べながらショーを楽しむのも日本文化のひとつ◆



日楽座弁当



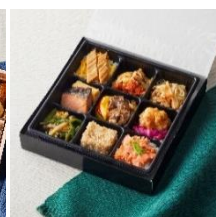
日楽座こども弁当



日楽座スナックバッグ



高級弁当



ハラール弁当



ヴィーガン弁当

◆便利なアクセスで新しいエキサイティングな体験を◆

THE SUMO HALL 日楽座 OSAKA のある商業施設「なんばパークス」は、南海「なんば駅」から徒歩約3分、Osaka Metro「なんば駅」から徒歩約10分、阪神・近鉄「大阪難波駅」から徒歩約15分と、アクセスがしやすい場所に位置しています。

また、京都からは電車で約1時間15分、奈良、神戸からは電車で約1時間と、関西への旅行計画に組み込みやすいのも特徴です。

大阪の有名繁華街「道頓堀」、ランドマークとして知られる展望塔や「新世界」からも徒歩圏内であるため、観光のついでに気軽に立ち寄ることができます。



◆日本の相撲文化を世界へ！◆

THE SUMO HALL 日楽座 OSAKA の「日楽座」には、日本の魅力を深堀・再発見し世界中の人々に「日本文化の新たな楽しみ方」を発信したい、という想いが込められています。

メインターゲットである欧米豪を中心に現在30カ国ほどからご予約をいただいております。相撲文化を世界へ発信することの第一歩を踏み出していると実感しています。

多くの方々にご来場いただけるよう、そして、相撲に息づく日本文化の魅力をさらに世界へ発信できるよう、海外のお客様に向けたプロモーションを一層強化してまいります。

■ THE SUMO HALL 日楽座 OSAKA 概要 ■

【営業時間】 11:00～23:00 (11:00～17:00 はスーベニアショップのみの営業)

[定休日: 毎週火曜日及び年末年始(12/31・1/1) ※繁忙期は火曜日も営業]

【パフォーマンス】 各日2公演 ①18:00開演(17:00開場) ②21:00開演(20:00開場)

※1日1回公演の日は、19:00開演(18:00開場) ※パフォーマンスの上演は約60分。

施設名称: THE SUMO HALL 日楽座 OSAKA (ザ・スモウホール ヒラクザ オオサカ)

場所: なんばパークス 8階 (大阪市浪速区難波中 2-10-70)

開業日: 2024年5月30日(木)

料金: S席・16,000円 A席・12,500円(こども9,000円) B席・9,500円(こども7,000円)

※すべての公演チケットに、「日楽座弁当」、「日楽座こども弁当」または「日楽座スナックバッグ」と1ドリンク付き。

※こどもは3歳以上12歳以下(「日楽座こども弁当」となります。)

※高級弁当(+4,000円)、ハラール弁当(+2,000円)、ヴィーガン弁当(+2,000円) ※全て税込価格

※お弁当のご提供は3日前の10時のお申込みまで。それ以降は「日楽座スナックバッグ」のみのご提供となります。

※「日楽座スナックバッグ」は公演日当日の15時まで受け付けています。

URL: <https://www.hirakuza.net/sumohall/>

- ・公式サイトチケット購入ページ <https://hirakuza.net/sumohall/tickets/>
- ・対応言語詳細 日本語、英語
- ・対応クレジットカード(MUFG・DC・UFJ・NICOS・VISA・MasterCard・JCB)

<会社概要> 社名 株式会社阪神コンテンツリンク HANSHIN CONTENTS LINK CORPORATION
本社所在地 大阪市福島区海老江1丁目1番31号 阪神野田センタービル10F
資本金 230,000千円(阪神電気鉄道株式会社100%出資。阪急阪神東宝グループ)
事業内容 コンテンツ事業、音楽事業、広告メディア事業、サイン制作事業
弊社は、ビルボードライブや阪神甲子園球場イベント運営等で培ったエンタテインメントショービジネスのノウハウを本事業に活用します。

以上

<資料提供先> 青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ、各社阪神支局、各社運動部、スポーツ紙各社、関西レジャー記者クラブ、大阪商工記者会、国土交通記者会

【ニュースリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社阪神コンテンツリンク インバウンド事業部 担当 杉本・細川

TEL: (06) 6556-9677 FAX: (06) 6556-9755 E-mail: hirakuza-press@hcl-c.com